

便利で行き届いた ライフライン

福岡県の最も東に位置する京築地域。その中にある築上町は、波穏やかな周防灘に面し、英彦山や犬ヶ岳、国見山などの山々を背にする、海と山の恵みをいただく町です。そんな町域の北部には、「福岡県自然百選」「せとうち風景30選」に選ばれた美しい海岸線に沿って、JR日豊本線、国道10号、東九州自動車道（椎田道路）、県道58号椎田勝山線が並走しています。北九州市や大分市と連絡するこれらの基幹交通に加え、平成28年4月には東九州自動車道の椎田南IC、豊前IC間が開通。北九州市から宮崎市まで高速道路が直結し、東九州の活性化が見込まれる中、3つのインターチェンジを有する築上町にもぎわいが生まれ、育ちました。特に中心市街地では、新庁舎建設や駅前広場整備など、生活拠点の充実で活力あるまちへと進化を続けています。

コミュニティバス



JR日豊本線



住み良い築上町

アクセス環境の良さから多くの交流でにぎわいが生まれるまち。豊かな暮らしが築かれています。

3つのインターチェンジ



国道10号



定住者 インタビュー



Interview

空き家で新しい暮らし

「夫の通勤圏内にあるたくさんの自治体で家探しをしました。」お子さんの成長を考え、計画を練りに練って築上町への移住を決めたご家族。「最初に訪れた自治体が築上町でした。町の対応もとても親切で、タイミングよく空き家を紹介していただいたこともあり、すぐに夫婦で意気投合。もちろん他にもたくさん見てまわりましたが、いろいろな縁もあり、娘が小学校に入るタイミングで隣の県から築上町へ引っ越してきました。田舎に住むということは、メリットもデメリットもあると思います。慣れない地域活動に参加していく中で、少しずつ地域のみなさん

ふるさとで夢を実現

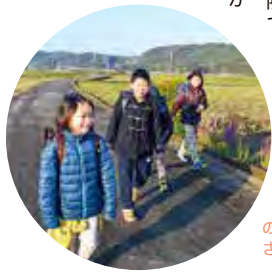
「田舎暮らしがしてみたいという夫の熱意に押され、私（妻）のふるさとに戻ることにしました。」関西から築上町に移住した長洲さん夫妻は、田んぼの広がる築上町本庄でパン屋『じゅあん』を営んでいます。「二人とも蕎麦やパンを作るのが大好きだったんです。50歳を超えて元気だし、さて何をしよう、食めぐりでおいしいものをたくさん見たり食べたりするなかで『自分たちも作ってみようか？』となり、思い切ってパン屋をやってみることにしました。実際に住んでみて、景色もきれいで山がきもちいいですよ。山菜をとったり、竹で何かつくったりと、山が生活の

中にあるという感じ。田舎でも、ネット環境があれば欲しいものを手に入れることができます。移住するタイミングで町に光回線が整備されたのも良かったです。」取材中も、パンを買いに来た小さな女の子が嬉しそうにショークースをのぞく姿がみられました。「畑で育てた野菜でどんなパンを作ろうかと考えるのも楽しみ。」というほっこりな長洲さん夫妻のもとには、地域のみなさんの笑顔が集まっていました。



取材中、ご近所さんから採れたて野菜の差し入れ。あたたかい日常が垣間見えました。

とも打ち解け、『あなたが来てくれて地域が明るくなった』と言われてもらったときは嬉しかったですね。移住の経験を生かして、移住した方と地域の方をつなぐパイプ役になつていきたいと思っています。」地域や教育環境について真剣に思いを語るご夫妻。空き家バンクで購入した一軒家の壁をお父さんが楽しげに塗り替えている隣で、縄跳びの練習をがんばるお子さんの明るい笑顔がはじけました。



のどかなあぜ道をお友達と楽しく登校するお子さん。小学校にもすぐに慣れたそうです。



定住者支援の 取り組み

空き家バンクをより利用しやすくするため、改修費用や不動産仲介手数料の補助などを行っています。また、築上町での新規就農、起業・創業をお考えの方向けに、相談窓口を設置しています。